

# 我が家の防災対策

出水期に、今一度備える

備蓄品の賞味期限大丈夫だったかな？

災害情報ってどうやって確認できるの？

非常時持出袋の中身確認しないと！

防災ラジオはきちんと受信できてるかな？

☎171ってどこにつながるの？



我が家の「備え」は大丈夫ですか？



昨年、記録的な大雨により市内各地で土砂災害が発生しました。

「水が足りない」「物資が足りない」—。

行政などからの支援が届くまでには時間がかかります。

そういったときのためにも、自助による備えが不可欠です。

6月は土砂災害防止月間です。出水期に備えて、今一度我が家の「備え」を確認してみましょう。

## ✓ 我が家の「備え」Check

### 事前の確認が肝心

宇和島市防災マップなどで、土砂災害や洪水の危険箇所を把握している

▶ スマホアプリ「伊達なうわじま安心ナビ」、市ホームページで確認できます。



地震や大雨など、災害の種類によって避難所が異なることを知っている

▶ 災害ごとに避難できる避難所を確認し、防災訓練などでは災害ごとの避難先や経路の確認をしましょう。

自宅や職場、学校付近の安全な避難先や経路を家族全員が把握している

▶ 宇和島市防災マップを確認し、自宅だけでなく職場や学校付近の避難先や経路などを家族で確認しましょう。

防災ラジオの受信状況を確認している

▶ 防災ラジオの受信改善を行っています。聞こえにくい場合は、危機管理課 ☎49-7006 または各支所総務係まで。

※ 2台目以降は1台3,000円で取得できます。

非常持出品や備蓄品をチェックし、目に付きやすく取り出しやすい場所に置いている

▶ 非常食品の目安は最低3日分です。いつでも持ち出せる準備をしておきましょう。

家族で災害時の連絡手段を決めている

▶ ☎171に電話することで、災害時の声の伝言板「災害用伝言ダイヤル171」が活用できます。毎月1日と15日など、体験利用できる日もあります。

## 正確な情報収集を

スマホアプリ「伊達なうわじま安心ナビ」や「Yahoo!防災速報アプリ」などを使用している

▶ 大雨情報などの緊急情報や宇和島市防災マップなどが確認できます。

市公式 SNS (Facebook・Twitter) でも情報収集を行っている

▶ 市公式 SNS でも災害情報を発信しています。ただし、SNS 上で拡散された不確かな情報には注意してください。



避難勧告や避難指示などが発令された場合にどのような行動を取れば良いか把握している

▶ 避難勧告や避難指示の伝達方法が警戒レベルを用いた方法に変わります。詳しくは、広報 P 6 を確認してください。

行政連絡放送の内容が聞き取れなかった場合や、再度聞きたい場合の確認方法を知っている

▶ ☎49-7064 に電話をすることで直前の放送から順番に確認ができます。

「宇和島市安心安全情報メール」に登録している

▶ 登録方法：携帯電話で QR コードを読み取るか、空メール (bousai.uwajima-city@raidenn.ktaiwork.jp) を送信してください。



## 日ごろからの取り組み

地域の避難訓練や防災研修などに参加している

▶ 6月2日(日)には、市内全域を対象とした「土砂災害等防災訓練」が行われます。詳しくは、広報 P 6 を確認してください。

早めの避難を心がけている

住んでいる地域で高齢者や障がい者など避難の手助けが必要な人を知っている

自治会活動などで日ごろから地域とつながりがある



## 災害対策チェック結果

0～3

災害に対する備えが不足しています。各項目を確認し万全の備えを目指しましょう。

4～6

最低限の備えはできていますが、不足している可能性があります。今一度防災対策への意識を高めましょう。

7～9

ある程度の備えができています。不足している項目を確認し、もう一步踏み込んだ備えを目指しましょう。

10～12

防災対策への意識が高く、備えもできています。定期的に見直しを行い万全の備えを目指しましょう。

13～15

家族・地域との情報共有もできているようです。出水期だけではなく、年間を通して備えを意識しましょう。

# 警戒レベルを使った伝達方法に変わります。

例：「避難勧告」→「警戒レベル4 避難勧告」

避難を判断する災害情報の表現が、警戒レベルを用いた方法に変わります。それぞれの段階に応じた避難行動を確認しましょう。

警戒レベル	避難情報など	私たちがとるべき行動
警戒レベル5	災害発生情報	万が一避難することが危険な場合は、命を守る最善の行動を取る
警戒レベル4	避難勧告 避難指示(緊急)	全員が避難する
警戒レベル3	避難準備・ 高齢者等避難開始	高齢者などは避難を開始。そのほかの人は、避難に備えて準備し、状況に応じて早めに避難する
警戒レベル2	注意報	避難に備え、避難場所・経路の確認や避難情報を集める
警戒レベル1	早期注意情報 (警報級の可能性)	気象情報などの最新情報に注意する

## こんなときどうする

### ■「立退き避難」と聞いたら…

安全が確保された建物に移動してください。  
→指定緊急避難場所、近隣の安全な建物など

### ■「屋内安全確保」と聞いたら…

屋内のより安全な場所で退避してください。  
→自宅の2階以上で山と反対側の居室など

## 土砂災害等防災訓練

【と き】6月2日(日) 午前8時30分～

【対 象】市内土砂災害警戒区域など、須賀川洪水浸水想定区域

【訓練内容】市が発信する防災情報や自治会などの決めごとを前提に、自分や家族がどう行動すべきかを確認し、各地域の避難経路や避難所の位置などを確認してください。

【問合先】危機管理課 ☎49-7006

## 海抜表示・津波避難誘導標識設置 協力者募集

【対 象】津波浸水区域内（市防災マップ）の自治会、自主防災組織、事業所など

【内 容】設置場所に応じた標識を作成します。

【募集期間】6月3日(月)～28日(金)（応募多数の場合は、調整することがあります）

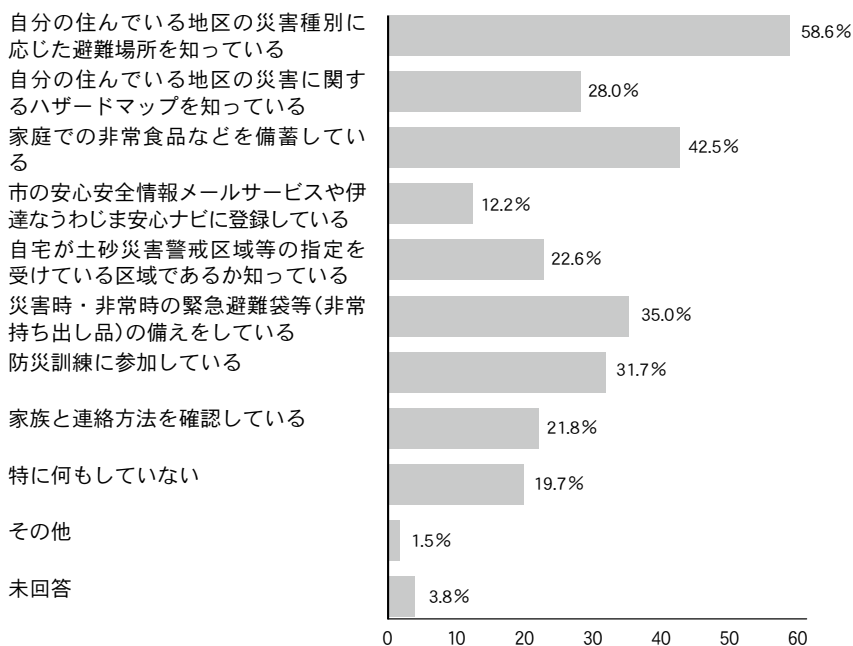
【申込・問合先】危機管理課 ☎49-7006

## 災害はいつ起こるか分からない

災害への対策は普段からの備えが必要不可欠です。昨年実施した「復旧・復興に関する市民アンケート」の結果からも、私たち1人ひとりが日ごろからの災害対策への意識をさらに高めていく必要があることが分かります。

今月の特集で確認した内容をもとに、今一度家族で防災対策を見直し、万が一の場合の備えを心がけましょう。

## Q. 災害に対して、あなたが日ごろから知っているもの、準備しているものは何ですか？



【復旧・復興に関する市民アンケートから抜粋】

## あなたはいくつチェックできましたか？

備えの大切さは理解しているものの、実際には準備が不十分なことが多くあります。広報P 4～5に掲載したチェック内容を実際にチェックしてもらいました。



3 / 15 check

転入して1年程度が経過しましたが、自宅近くの危険箇所などを把握できていません。

防災ラジオの受信状況も不安定であり、今後受信状況改善の相談も検討したいです。



4 / 15 check

避難場所は把握していますが、災害種別に応じて実際にどこに避難するかなど、細かいことまでは十分に把握できていません。避難経路の想定など、家族で共有認識を持ちたいと思います。



7 / 15 check

非常時持出袋などは、数年前に一度準備したきりで、そのままになっています。賞味期限の確認など、この機会に今一度内容をチェックしておきたいと思っています。



9 / 15 check

スマホアプリなどは使いこなせていませんが、危険箇所など災害に関する情報は自治会活動を通して把握しています。緊急時の連絡手段などは今後家族と話していきたいと思っています。